

長岡造形大学

入学試験

模擬問題

2025年度

2025年度 長岡造形大学 入学試験 模擬問題

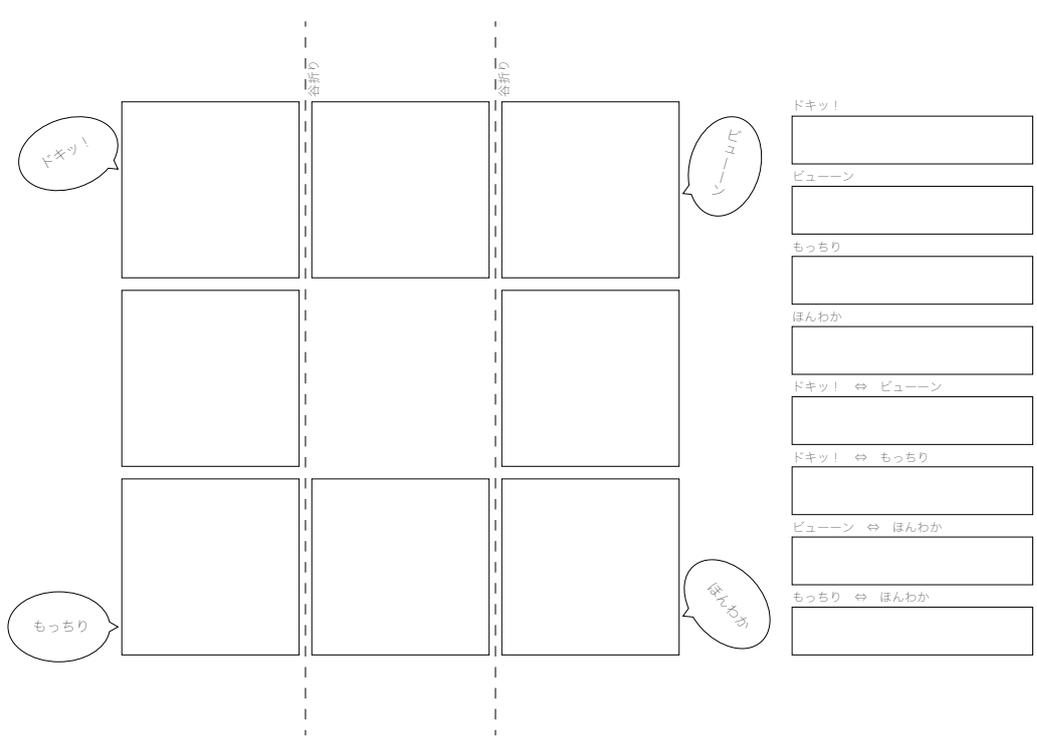
目次

総合型選抜 模擬問題	3
学校推薦型選抜 模擬問題	4 - 5
一般選抜（前期日程）模擬問題	
平面構成	6 - 9
鉛筆描写	10 - 13
提案書（文章と図・絵による）.....	14 - 15
一般選抜（中期日程）学科別試験（美術・工芸学科）模擬問題	
デッサン	16 - 19
立体造形（粘土）.....	20 - 21

総合型選抜 模擬問題 課題制作 150分

模擬問題

※デザイン学科の問題は2025年度総合型選抜の模擬問題として作成されたものです。

学 科	課題制作の内容
デザイン 学科	<p>〈課 題〉 まず、解答用紙の四隅のマスに付く、吹き出しから連想される「形状」を設定して、それぞれに描写しなさい。 このとき、解答用紙に描かれた谷折りの破線が角度90度に折られた時の位置関係を考慮すること。 つぎに描写した四隅を基準として、縦横繋がるマスを連続性をもって補完するよう描写しなさい。 連続性の解釈は、空間的・時間的・物語的など、自由とする。 解答用紙右側には、それらを描写した意図がわかるように、それぞれ24文字以内で説明しなさい。</p> <p>〈条 件〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 解答用紙は折ってはいけない。 想定した「形状」の質感・量感は自由。ただし、マスからはみ出してはいけない。 解答用紙は、配布した黒サインペン[®]のみで表現すること（草案用紙は持参具を自由に使用して良い）。 <p>（注）サインペンの種類は「ぺんてるサインペン（S520-AD）」や「パイロットスーパーブチ中字（SEG-10M-B）」を想定</p> <p>解答用紙（A3横）</p> 

※美術・工芸学科、建築・環境デザイン学科の問題は2024年度総合型選抜で使用された問題を一部改編したものです。

学 科	課題制作の内容
美術・工芸 学科	<p>〈課 題〉 「気候と生活」を以下の条件に従い表現しなさい。 また、その制作意図をコンセプトシートに200字程度で記述しなさい。</p> <p>〈条 件〉</p> <ul style="list-style-type: none"> この課題は自己の自由な表現を求めます。 A3画用ボード上に与えられた材料（ケント紙、色紙、鉛筆※色鉛筆は不可）を用い、表現すること。 平面・立体、またはそれぞれを組み合わせた手法で表現すること。 制作物は移動してもかたがたが変わったり壊れたりしないように画用ボードに定着させること。
建築・環境 デザイン学科	<p>〈課 題〉 「窓」がつくる「こちら側」と「あちら側」の空間 「窓」とは建築に穿たれた単なる孔（あな）ではない。採光や通風などの機能だけでなく、私たちは「窓」を「こちら側」と「あちら側」を結び付けると同時に分割している象徴的な存在だと認識している。この「窓」（ひとつ、あるいは複数）を制作しこちら側（室内・屋外は問わない）とあちら側（室内・屋外は問わない）の空間を表現しなさい。ただし、想定した空間がだいたいどのくらいの大きさかを示すために人型の模型（簡易なもので良い）を構成内に配置すること。また、窓がある壁や建築の部分等は自由に設定して良い。</p> <p>〈条 件〉（使用するもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> 与えられたA3ケント紙5枚とA3コピー用紙5枚、透明プラ板のみを使用すること。 <p>（立体表現）</p> <ul style="list-style-type: none"> 人型の大きさは自由、数はいくつでも良い。 立体表現が与えられた台紙（A3サイズ・スチレンボード）の範囲内に収まるようにすること。 <p>（コンセプトシート）</p> <ul style="list-style-type: none"> 空間の制作意図をコンセプトシートにタイトルと説明文（200～300字程度）、スケッチ・図面等で美しく表現すること。

学校推薦型選抜 模擬問題

提案書（文章と図・絵による） 90分

模擬問題 1 ※この問題は2024年度学校推薦型選抜で使用された問題を一部改編したものです。

〈問題〉

以下の文章を読み、問いに答えなさい。

生物学者のヤーコプ・フォン・ユクスキュルは、それぞれの生物に見えている世界を「環世界」と呼び、その姿は生物ごとに異なると主張した（ユクスキュル／クリサート著、日高敏隆他訳、『生物から見た世界』、岩波文庫、2005）。ユクスキュル自身はダニや貝などさまざまな生物の環世界を分析しているが、ここでは身近な例として、イヌから見た環世界を想像してみよう。

鼻をひくひくさせながら、道を歩く。電柱や街路樹の足元は、特に念入りに嗅ぐ。ライバルのにおいを見つけたら、自分も上書きでマーキングする。

空き地には草が生えていて、フカフカして気持ちいい。ウンチがしたくなる。逆に夏場のアスファルトは、足の裏やお腹にダイレクトに熱が伝わり、たまったもんじゃない。それに、僕の何倍もの大きさの車がビュンビュンと通り過ぎる。今日も車の陰で涼んでいたら、急に発進して轢かれそうになった。

…おっと、飼い主さんが血相を変えて走ってきた。今日の逃走タイムはこれで終わり。

このように想像してみると、イヌは、五感の使い方や体の大きさ、構造、他者（他のイヌ）との関係などが人間とは異なっていて、世界の見え方も違うことがわかる。では、この環世界の考え方を取り入れると、デザインはどのように変わるだろうか。

問1 次の問2、問3で対象とする「生物」と「人工物」を、それぞれ1つ書きなさい。

対象となる生物は、人間、イヌ、ネコを除き、生物とみなしうるものであれば何でもよい。対象人工物は、既に世の中に存在するものであれば、プロダクト、街や建物やその一部など自由に設定してよい。

問2 問1で設定した対象生物の立場に立って、見えている「環世界」の様子、そこでの暮らしや対象生物自身の感じ方などを、300字以内の文章で表現しなさい。文中に必ず、問1で設定した対象人工物を含むこと。

ただし、童話やおとぎ話のような空想のストーリーではなく、実際の生物が感じ取っているであろう世界をリアルに想像して書くこと。

問3 対象生物の環世界を踏まえて、対象人工物をよりよくできるようなデザインを提案し、解答欄に図や文章を用いて自由に表現しなさい。解答欄には、提案のタイトルを含めて記載すること。

解答のポイント

- ・「環世界」の概念を正しく理解して、対象生物から見た世界をリアルに想像し、文章で表現できているか。（問2）
- ・問2で示した環世界の特徴を活かして、デザインの提案ができているか。つまり、人間の目線のみから行なうデザインとは異なるものが生み出せたか。（問3）
- ・デザインの提案が、図や文章を用いて、わかりやすく魅力的に表現できているか。（問3）
- ・面白いと思わせる、独自の発想を示せているか。そのためには最終的なデザイン（問3）だけではなく、対象とする生物や人工物の選択、あるいはそれらの組み合わせの意外性（問1）や、対象生物のあまり知られていない性質の提示（問2）といった、デザインの前提条件の決め方も、重要なポイントとなる。

模擬問題 2 ※この問題は 2024 年度学校推薦型選抜で使用された問題を一部改編したものです。

〈問題〉

米航空宇宙局（NASA）が中心となり現在進められている国際協力プロジェクト「アルテミス計画」では、月にベースキャンプを作り、2030年頃まで月の有人探査を繰り返し行い、その後、往復で3年かかる火星への有人探査が計画されている。長時間をかけて地球外（宇宙空間や地球以外の惑星など）へ行き、そこで生活することは、夢物語ではなくってきている。

宇宙船内での無重力環境では体の重さを感じず、上下という概念がないので全方位を作業空間や収納場所として利用することが可能である。地球では下方向に落ちる物体も静止し、力を受ければ受けた方向へ等速直線運動を維持し、液体も空中に浮き、形は必ず「球」となるといった特徴がある。

以上を踏まえ以下の問いに答えなさい。

問1 宇宙船内における生活を豊か（楽しい・快適・便利・リラックスするなど）にするための、無重力空間に特有なデザインを発明し、概要を200文字以内で記述しなさい。

※ここでのデザインとはサービスやコミュニティ等、物質的なもの以外も可とする。

問2 上記で示したデザインの用途や機能、形や使用状況、組織や仕組み等がわかるように自由に図解しなさい。

問3 近未来の西暦20XX年、数名のクルーと乗客を合わせて50人を乗せた宇宙船が、太陽系周回旅行に旅立った。航行中の船内は無重力であるが、地球への帰還は10年後の予定であることを考慮し、個室、食堂、遊技場、共用スペース、トレーニングジム等の設備があり、乗員たちの生活の質は十分に配慮されている。ところが、出発から3年目に航行制御装置に不測の事態が発生し、宇宙船は永遠に広大な宇宙空間を飛び続けるしかなくなってしまった。この状況下において宇宙船内で起こりうる問題を箇条書き（30字以内ずつ）で5つあげなさい。

※食料、酸素、エネルギーの補給は担保されていると考えること。

解答のポイント

- ・「無重力空間に特有なデザイン」が、しっかりとできているか。つまり地球上でのデザインと異なったものとなっているか。（問1, 2）
- ・デザインの提案が、文章（問1）、図（問2）を用いて、わかりやすく魅力的に表現できているか。
- ・面白いと思わせる、独自の発想を示しているか。問題文にある「等速直線運動」「液体が球になる」というヒントは全受験生に共通で与えられているので、そこからいかに発想を展開できているかが問われる。かつ、提案に論理性があり、夢物語に終わらないことも必要である。（問1, 2）
- ・特殊な状況に対する想像力を膨らませ、幅広い視野で、また時間の経過を考慮した上で、起こりうる問題を洗い出せたか（たとえばコミュニケーション、人の行動や心理、死や出産など）。（問3）

一般選抜（前期日程）模擬問題

平面構成 180分

模擬問題 1 ※この問題は2023年度一般選抜〔前期日程〕で使用された問題を一部改編したものです。

〈問題〉

モチーフを活かして「音」をテーマに美しい色彩構成をなさい。

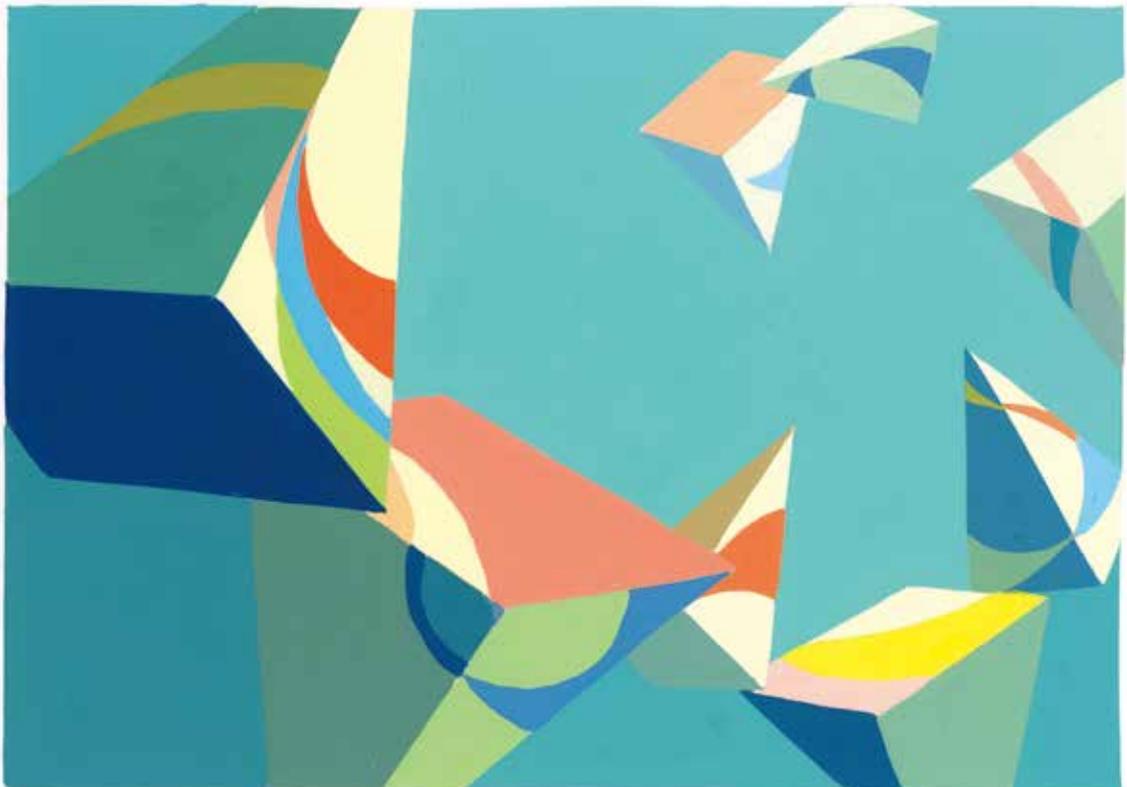
〈モチーフ〉

任意の四角錐

〈条件〉

- 1) 与えられたA3イラストボード横位置の中央に、縦210mm×横297mmの長方形を描き、その長方形内を画面とする。
- 2) 四角錐の底面は正方形とし、高さは自由とする。
- 3) 四角錐の色・柄の設定は自由とする。
- 4) 四角錐の数は自由とする。
- 5) 四角錐は画面からはみ出しても良いが、元の形が分かる範囲とする。
- 6) 画面内は余白を残さず彩色する。また、画面外は彩色せず、イラストボードの白地のまま残す。
- 7) 直線・円弧のみで表現する。
- 8) 図形の輪郭線と直線・円弧には幅を持たせない。
- 9) 構成する要素となる色面は、全て定規とコンパスを使って作れる形のみとし、自由曲線は認めない。
- 10) 四角錐以外のモチーフは使用してはならない。
- 11) 使用する色数は自由。画面内は混色目的以外での無彩色（白、黒、灰色）と蛍光色の単独の使用は不可とする。
- 12) 四角錐の表現は、平面的な表現や立体的・空間的な表現など表現方法は自由とする。
- 13) 指定された用具のみを使用する。
- 14) 描いた「音」の色彩構成にタイトルをつけて、回答用紙表面の画面外左下余白に鉛筆で記入すること。

●作品例



タイトル：
くるくる

●作品例



タイトル：
なつかしくて
わくわくする音

●作品例



タイトル：
暮れの演奏会

一般選抜（前期日程）模擬問題

平面構成 180分

模擬問題2 ※この問題は2024年度一般選抜〔前期日程〕で使用された問題を一部改編したものです。

〈問題〉

「元氣」をテーマにモチーフを活かして色彩構成をなさい。また、その制作意図が分かるタイトルを付けなさい。

〈モチーフ〉

任意の大きさの正四角柱 5本以内

〈条件〉

- 1) 与えられたA3イラストボード縦位置の中央に、縦297mm×横210mmの長方形を描き、その長方形内を画面とする。
- 2) 正四角柱の大きさはそれぞれ任意とする。正四角柱以外は使用してはならない。
- 3) 正四角柱の表現は、平面的な表現や立体的・空間的表現など自由とする。
- 4) 正四角柱の輪郭線には幅を持たせない。
- 5) 正四角柱は画面からはみ出して切れても構わない。
- 6) 使用する色数は自由、画面内は混色目的以外での無彩色（白・黒・灰色）と蛍光色の単独の使用は不可とする。
- 7) 彩色は平塗りのみとし、ぼかし、かすれ、にじみ等の表現は不可とする。
- 8) 画面内は余白を残さず彩色する。また画面外は彩色せず、イラストボードの白地をそのまま残す。
- 9) 指定された用具のみを使用する。
- 10) タイトルは画面外左下に記入しなさい。

注：【正四角柱】 底面が正方形で4つの側面が合同な長方形となる角柱。

●作品例



タイトル：おもちゃばこ

●作品例



タイトル：太陽の朝

●作品例



タイトル：みなぎるパワー

一般選抜（前期日程）模擬問題

鉛筆描写 180分

模擬問題 1 ※この問題は2023年度一般選抜〔前期日程〕で使用された問題を一部改編したものです。

〈問題〉

以下の条件に従い、「手」と「アルミホイル」を鉛筆描写しなさい。

〈条件〉

- 1) 「手」と与えられた「アルミホイル」を構成し、次のことに注意して描写すること。
 - ・アルミホイルは箱から取り出し、モチーフとする。
 - ・箱はモチーフとしない。
 - ・モチーフの扱いは、折る、破るなど形状を変更しても良い。
- 2) 解答用紙の取り扱いは次の指示に従うこと。
 - ・解答用紙（B3画用ボード）は、縦、横のいずれの向きで使用しても構わない。
 - ・解答用紙の白い面に描くこと。

●作品例



● 作品例



一般選抜（前期日程）模擬問題

鉛筆描写 180分

模擬問題2 ※この問題は2024年度一般選抜〔前期日程〕で使用された問題を一部改編したものです。

〈問題〉

以下の条件に従い、「手」と「プラスチックカップ」を鉛筆描写しなさい。

〈条件〉

- 1) モチーフの扱いについては、次の指示に従うこと。
 - ・プラスチックカップは3つ配布する。
 - ・描写するプラスチックカップの数は、1つでも2つでも3つでも良い。
 - ・台やテーブルを想定して描写しても良い。
- 2) 解答用紙の取り扱いには次の指示に従うこと。
 - ・解答用紙（B3画用ボード）は、縦、横のいずれの向きで使用しても構わない。
 - ・解答用紙の白い面に描くこと。

●作品例



● 作品例



一般選抜（前期日程）模擬問題

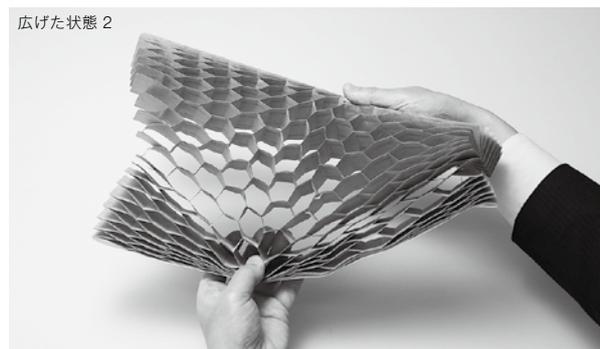
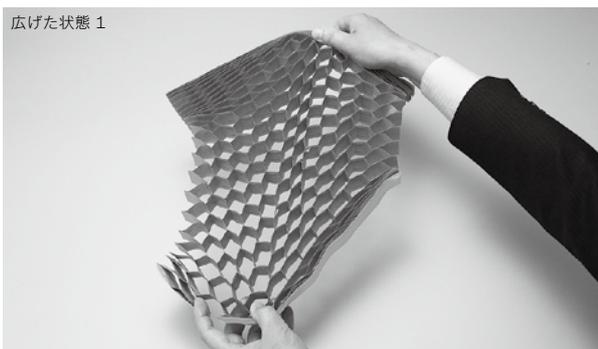
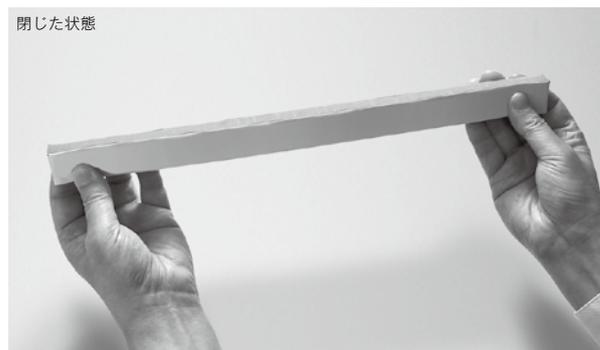
提案書（文章と図・絵による） 90分

模擬問題 1 ※この問題は 2023 年度一般選抜〔前期日程〕で使用された問題を一部改編したものです。

〈問題〉

“PRISONERS’ INVENTIONS”という本がある（Temporary Services 他著，Whitewalls Inc，2005）。そこには刑務所に収監された囚人たちが、与えられた数少ない物資をうまく使って新しいものを生み出した事例が、たくさん掲載されている。紐とクリップと新聞紙を組み合わせてハンガーをつくったり、濡らしたトイレトペーパーを固めてサイコロにして遊んだり。あなた自身も、段ボール箱を机にしたり、傘を使ってゴルフをしたりした経験があるかもしれない。このように人は、既存の物の特徴をうまく活かして、思わぬ使い方を発明することがある。

さて、手元に配られているのは「チェーンポット」という農業用の製品である。板状に広げて土を入れ、一つ一つのポットで野菜などの苗を育て、最後は小分けにして畑に定植することができる（下写真）。



問1 “PRISONERS’ INVENTIONS”を参考にして、チェーンポットの独自の使用方法を考案し、解答用紙に指定された枠内に、わかりやすく図解しなさい。提案のタイトルや、使用時のおおよその寸法を含めること。提案の際の条件は、下記の通りである。

- ・チェーンポットを加工したり、複数個用いたり、他のものと組み合わせたりしてもよい。
- ・形状と挙動がチェーンポットと同じであれば、大きさや素材、色などを変更したものを用品でもよい。
- ・特定の使用者や、使用環境を想定してもよい。

問2 問1で回答した使用方法について、200文字以内の文章で説明しなさい。チェーンポットの形状や挙動の特徴がどのように活かされているか、および、提案する使用方法により生じるメリットを、説明に含めること。

解答のポイント

- ・配布された「チェーンポット」を変形したり加工したりしながら観察し、その物理的特性の面白さをしっかりと洞察できているか。
- ・それを元に、独自性の高い提案ができていないか。特にこの問題では、モチーフが全受験生で同じなので、深い洞察や多様なアイデア展開ができなければ、他の受験生と似たような提案になってしまう。
- ・提案した使用方法について、使用者、使用環境、寸法などを含めて、具体的にわかりやすく図解できているか。
- ・チェーンポットの特徴からデザイン提案、そのメリットに至るまでの流れを、論理的に説明できているか。

模擬問題 2 ※この問題は 2024 年度一般選抜 [前期日程] で使用された問題を一部改編したものです。

〈問題〉

新型コロナウイルス感染症の流行が始まってから、およそ4年の歳月が流れた。その間私たちの世界では、さまざまな出来事が起こった。そのいくつかを、おおよそ順を追いながら振り返ってみよう。

- ・クルーズ船内で集団感染が発生し、乗客たちは船内で約2週間を過ごすことになった。
- ・人々は皆マスクを着けるようになり、消毒液やアクリルパネルも普及した。
- ・政府が緊急で各家庭にマスクを配布したが、質が低く、「アベノマスク」として揶揄された。
- ・あらゆるイベントや旅行、飲食店営業などが自粛に追い込まれ、倒産する企業も続出した。
- ・「Zoom」が急速に普及し、仕事や教育のオンライン化が進んだ。
- ・「ソーシャルディスタンス」「3密」「まんぼう（まん延防止等重点措置）」などの用語が次々に生まれた。
- ・感染者に対する差別が問題になった。
- ・行動制限を維持するべきだという人々と、経済活動を回すべきだという人々の間に論争が起きた。
- ・「ワクチン陰謀論」など、極端な思考を展開する人々もあらわれた。
- ・感染拡大の波を何度も繰り返しながら、やがてワクチンが普及し、ウイルス自体も弱毒化した。
- ・感染症法上の区分が「5類」に移行され、元の日常がだんだんと戻ってきた。

さて、そんなコロナ禍の出来事が人々の記憶から薄れつつある2030年の春、「ラフターウイルス感染症」と名付けられた新たな感染症の流行が始まった。最初の感染者が確認されてから1ヶ月後の段階で、以下のことがわかっている。

▼症状

- ・感染者はいわゆる「箸が転んでも笑う」状態となり、些細なことでも声を出して笑い出してしまう。
- ・一度笑い出すと、数分間から数十分間、笑いが治まらない。
- ・笑い以外には、発熱や身体痛、臓器の障害、感覚異常などの症状は出ない。ただし、笑いが続くことで頭痛や睡眠不足、呼吸困難に陥る場合があり、2件の死亡例が報告されている。
- ・通常の笑いと同様に、脳内にエンドルフィンが分泌され、幸福感は増す。
- ・潜伏期間はなくすぐに発症し、1週間程度で完治するケースが多い。

▼感染増加状況など

- ・日本国内で約800件の感染が確認されており、増加傾向にある。
- ・発生源は日本だと考えられ、海外でも徐々に感染者が出てきている。
- ・感染経路は医学的には解明されていないが、感染者と一緒に笑うことで感染するというのが、定説となっている。「Zoom」での打合せと一緒に笑っただけで感染したという報告も、数例ある。
- ・特効薬やワクチンの開発の目処は立っていない。

これを踏まえ、以下の問いに答えよ。

問1 「ラフターウイルス」の流行によって、その後数年間で起こるとあなたが予想する出来事を、解答欄に納まる範囲で自由に挙げ、箇条書きにせよ。

ただし、むやみに羅列するのではなく、必要に応じて分類や順序づけなどをして、わかりやすく示すこと。またその上で、あなたが興味深いと考える出来事を3つ選び、波線をつけよ。

問2 問1で答えたような社会状況において、どのようなデザインが可能だろうか。自由に提案し、絵や図、文章を使って、視覚的にわかりやすく表現せよ。

なお、デザインの対象は物に限らず、システムやサービスなどでもよい。ただし、問1で波線をつけた事柄のうち、1つ以上と関連する提案であること。また解答の中に、提案のタイトルを含むこと。

解答のポイント

- ・「ラフターウイルス」によって引き起こされる出来事を、幅広い視野で、想像力豊かに挙げるのができたか。またそれを、ただ羅列するだけでなく、論理的に整理できているか(分類する、評価する、時系列で並べるなど)。(問1)
- ・デザインの提案が、絵や図、文章を用いて、わかりやすく魅力的に表現できているか。(問2)
- ・新型コロナウイルス感染症の流行時において見られたものと違う、新しいデザインができていないか。そのためには、新型コロナウイルスとラフターウイルスの症状や感染状況の違いに、特に着目すべきであろう(たとえば「通常の笑いと同様に、脳内にエンドルフィンが分泌され、幸福感は増す」という点など。ウイルスをポジティブに活用することも可能となる)。(問1, 2)
- ・面白いと思わせる、独自の発想を示せているか。そのためには、提案の中身(問2)もさることながら、未来への想像力をはたらかせ(問1の箇条書き部分)、さらにその中から魅力的なデザイン提案につながりそうな事柄を選びだす(問1の波線部分)といった、デザインの前提条件の決め方も、重要になる。

一般選抜（中期日程）学科別試験（美術・工芸学科）模擬問題

デッサン 180分

模擬問題1 ※この問題は2023年度一般選抜〔中期日程〕で使用された問題を一部改編したものです。

〈問題〉

以下の条件に従い、与えられたモチーフ『紙箱2個』『毛糸』『レモン』を自由に描きなさい。

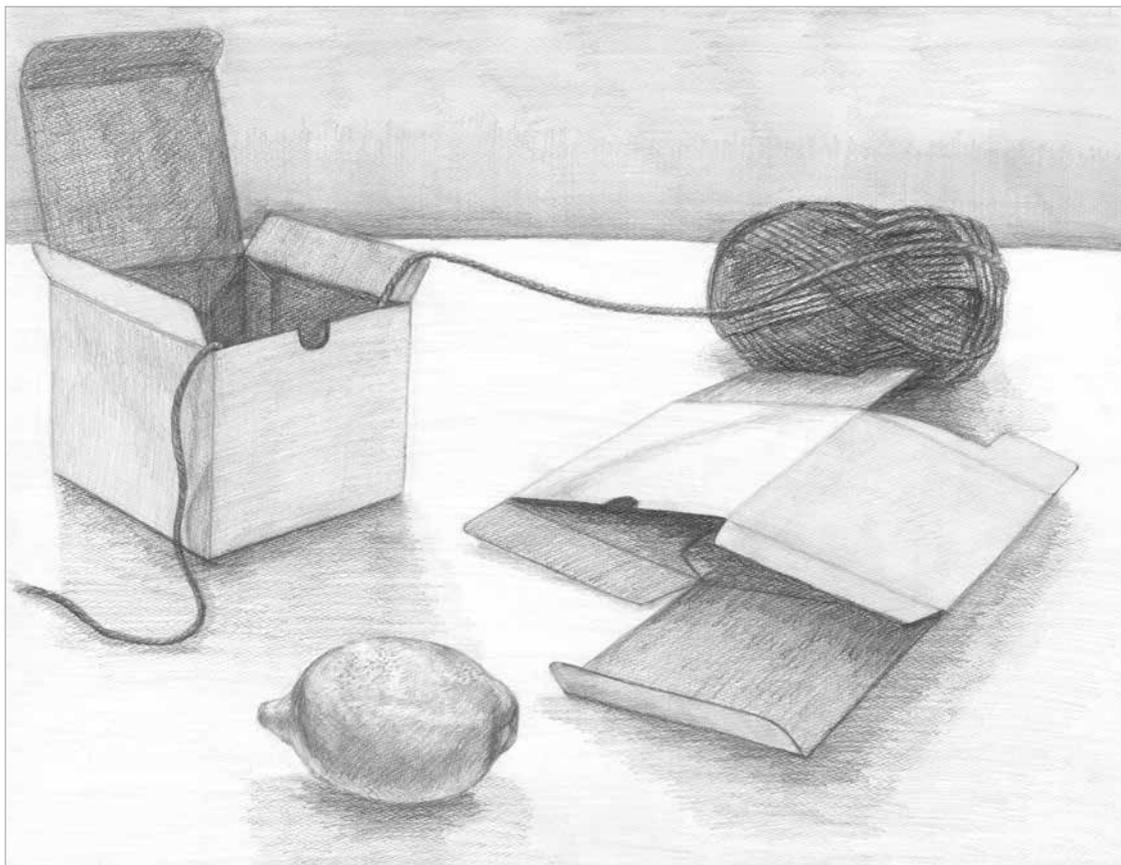
〈条件〉

- 1) 解答用紙（描画用紙）は各自の用いる描画材により、木炭紙大画用紙または木炭紙どちらかを選択すること。木炭紙を選択した場合は下敷き用木炭紙を使用しても良い。
- 2) 解答用紙は、縦、横のいずれの向きで使用しても構わない。
- 3) 紙箱の組み立て方は任意とする。
- 4) 毛糸のラベルは外すこと。ラベルはモチーフとしない。

解答のポイント

紙箱、毛糸、レモンの3つのモチーフを木炭紙大の画面でどのように捉えるか、構成力、描写力を問います。モチーフの描写のみならず、それらを矩形の画面との関係でいかに成立させるか。大きな画面に対して3時間という短い時間の中で、ものと空間のありようを、柔軟で自由な発想を基に画面を構想して、的確な描写と合わせて画面を作ることができるかを問います。

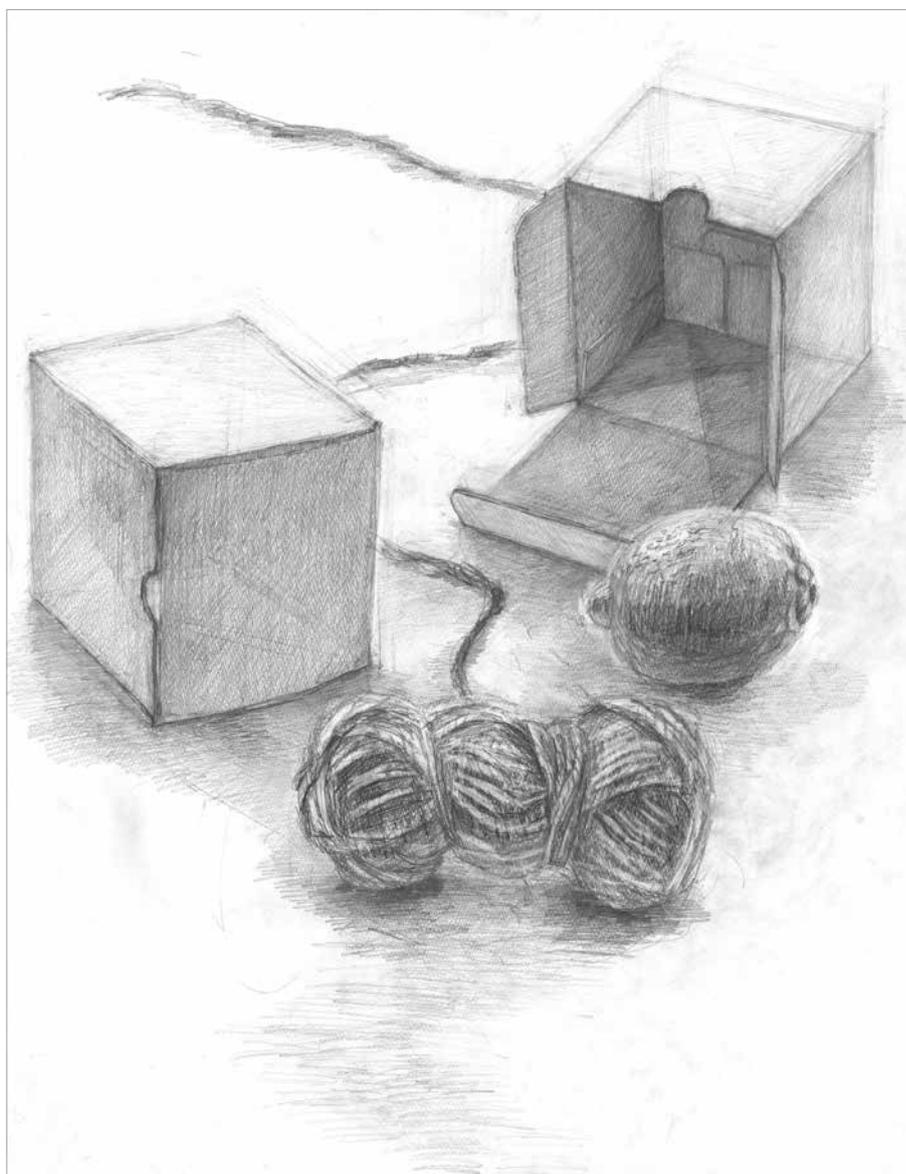
●作品例



評価のポイント

画面全体にモチーフをバランスよく配置しているが、それぞれ均等に力を入れた描写によって視点がやや散漫に見える。また、画面構成の意図が明確に表現されるとよい。モチーフをひとつひとつ観察し丁寧に描写しているところが評価できる。

●作品例



評価のポイント

縦構図の中でやや画面上部に重心を置くような構成に意図が感じられる。手前から奥へと毛糸を主軸に視線を誘導するような構成は面白い。モチーフの形、色、素材感の表現はやや弱い、具体的な描写を抑えることで、やわらかい空気感を表現しているところが評価できる。

一般選抜（中期日程）学科別試験（美術・工芸学科）模擬問題

デッサン 180分

模擬問題2 ※この問題は2024年度一般選抜〔中期日程〕で使用された問題を一部改編したものです。

〈問題〉

以下の条件に従い、①～③の与えられたものを自由に使ってモチーフとし、素描しなさい。

- ①ビニール袋、米 1袋 ②黒画用紙 1枚 ③木片 1個

〈条件〉

- 1) 解答用紙（描画用紙）は各自の用いる描画材により、木炭紙大画用紙または木炭紙どちらかを選択すること。木炭紙を選択した場合は下敷き用木炭紙を使用しても良い。
- 2) 解答用紙は、縦、横のいずれの向きで使用しても構わない。
- 3) 用紙に短辺45cmの任意の矩形を画面として設定する。
 - ・ 寸法の若干の誤差は構わない。
 - ・ 矩形の作成は随時、近くにある机で用意された定規を使うこと。
 - ・ モチーフの設定は各自の机上で行うこと。

解答のポイント

デッサンは創作の様々な要素の基本といえるでしょう。さらに加えるなら、物事をいかに捉え、それをどのように考えるかということを探索する方法ともいえるでしょう。その前提において、まずは基本的な描写の要素（構図、明暗、濃淡の三要素をどのように扱うか）は、相変わらず重要なポイントとなります。加えて、どのように対象を切り取るかは上述の事柄を支える大きな要素でもあります。対象の描写ばかりにとらわれていると見失いがちにもなります。もの（モチーフ）のみならず空間なども含め、いかに描写するかを見ます。

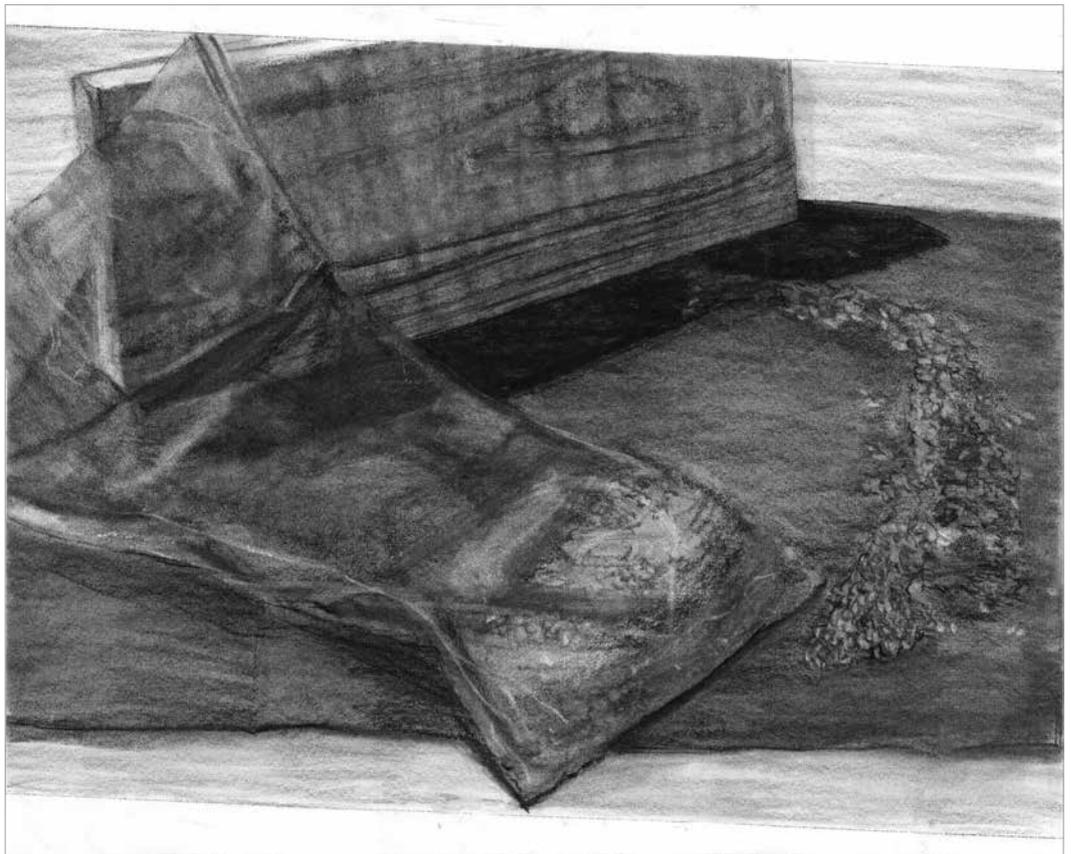
●作品例



評価のポイント

明快な明暗、濃淡を活かし、画面全体で対象の空間を自分なりの意図を持って表現しようとしているのが伺えます。個々のモチーフの描写よりも全体感にウエイトを置き、画材の特性をうまく引き出している点も良い。構図については対象を切り取るフレームがより意識できると尚良いが、自分の考えを押し通したところがかえって好印象。

● 作品例



評価のポイント

中期入試では、より実技の能力の高い学生を受け入れたいという本学科の考えがあります。今回は特にフレーム（画面の四辺）をどう意識できるかを問うてみました。これは本学科のどの分野においても大切な、もの（モチーフ）のみならず、それがある空間との関係を見ることができているかを問うものです。この作品も、モチーフの描写、構成とフレームをもう少し工夫できると良かったでしょう。

一般選抜（中期日程）学科別試験（美術・工芸学科）模擬問題

立体造形（粘土） 180分

模擬問題 1 ※この問題は 2023 年度一般選抜〔中期日程〕で使用された問題を一部改編したものです。

〈問題〉

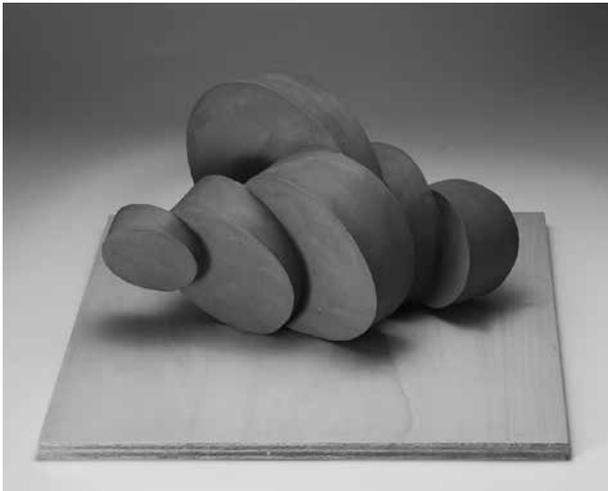
以下の条件に従い、『動き』をテーマとして自由に立体表現しなさい。

〈条件〉

- 1) 作品にはタイトルをつけ、タイトル票に記入すること。
- 2) 解答作品は解答用塑造板上からはみ出しても良いが、安定した状態を保てるようにすること。
- 3) 配布された道具のみを使用し、それらを加工しないこと。
- 4) 解答作品には異物を入れないこと。
- 5) 配布された粘土は全て使用しなくても良い。
- 6) 草案用紙はスケッチワーク以外には使用しないこと。

●作品例（作品は実際の受験者の作品ではありません） 参考作品素材：水粘土 4kg

タイトル：回転軌道

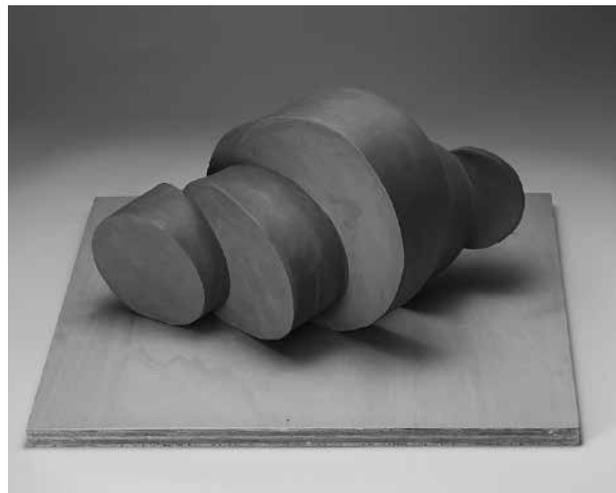


解答のポイント

- ・言葉のイメージを、どのように捉え解釈しているか。
- ・板上空間に的確な構成が成されているか。
- ・アイデアが明確に表現されているか。

評価のポイント

- ・イメージされた形態が、出題された「動き」という言葉を抽象的造形物として表現されている。
- ・空間と形態の関係を意識した立体構成となっている。
- ・幾何学的な造形への発想・展開が面白い。



模擬問題 2 ※この問題は 2024 年度一般選抜 [中期日程] で使用された問題を一部改編したものです。

〈問題〉

以下の条件に従い、『繋がり』をテーマとして自由に立体表現しなさい。

〈条件〉

- 1) 作品にはタイトルをつけ、タイトル票に記入すること。
- 2) 解答作品は解答用塑造板上からはみ出しても良いが、安定した状態を保てるようにすること。
- 3) 配布された粘土ペラのみを使用し、そのヘラを加工しないこと。
- 4) 解答作品には異物を入れないこと。
- 5) 配布された粘土は全て使用しなくても良い。
- 6) 草案用紙はスケッチワーク以外には使用しないこと。

●作品例 作品素材：水粘土 4kg

タイトル：永遠の愛の鼓動、命の繋がり



解答のポイント

- ・ テーマに対するイメージを、どのように捉え解釈しているか。
- ・ 空間における造形構成が的確か。
- ・ アイデアが明確に表現されているか。

評価のポイント

- ・ 出題された「繋がり」という言葉を、自身のイメージされた形態及びタイトルとして表現されている。
- ・ 立体構成として、空間と形態の関係を意識しようとしている。
- ・ 造形として改善の余地はあるが、発想や展開において独自性を感じる。



入学試験に関する問い合わせ
長岡造形大学 入試広報課

[受付時間] 月～金 9:00～17:00 (土・日・祝を除く)

[大学休業期間] 2024年8月10日(土)～2024年8月18日(日)

2024年12月28日(土)～2025年1月5日(日)

〒940-2088 新潟県長岡市千秋4丁目197番地

Tel. 0258-21-3331 Fax. 0258-21-3956 E-mail nyushi@nagaoka-id.ac.jp



公立大学法人

長岡造形大学

Nagaoka Institute of Design